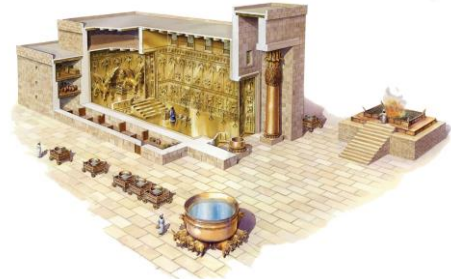


「神の住まない神殿」

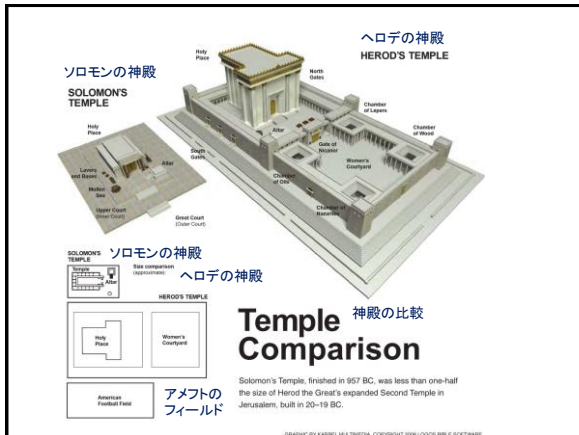
1列王記8章27-30節

1

ソロモンの神殿



2



3

それにしても、神ははたして地の上に住まわれるでしょうか。実に、天も、天の天も、あなたをお入れすることはできません。まして、私の建てたこの宮など、なおさらのことです。けれども、あなたのしもべの祈りと願いに御顔を向けてください。私の神、【主】よ。あなたのしもべが、きょう、御前にささげる叫びと祈りを聞いてください。そして、この宮、すなわち、あなたが『わたしの名をそこに置く』と仰せられたこの所に、夜も昼も御目を開いてくださって、あなたのしもべがこの所に向かってささげる祈りを聞いてください。あなたのしもべとあなたの民イスラエルが、この所に向かってささげる願いを聞いてください。あなたご自身が、あなたのお住まいになる所、天にいまして、これを聞いてください。聞いて、お赦しください。 1列王8:27-30

4

神殿を祈りの補助用

- それにしても、神ははたして地の上に住まわれるでしょうか。実に、天も、天の天も、あなたをお入れすることはできません。まして、私の建てたこの宮など、なおさらのことです。、、、あなたのしもべとあなたの民イスラエルが、この所に向かってささげる願いを聞いてください。あなたご自身が、あなたのお住まいになる所、天にいましてこれを聞いてください。聞いて、お赦しください。 1列王8:27-30
- この世界とそこにあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手でこしらえた宮などにはお住みになりません。 使17:24

5

神殿は神と人の関係を表す模型

- 関係が壊れている=至聖所(神の前に)に入ることはできない。幕で仕切られていた。
- 犠牲が常にささげられていた。
- イエス様が十字架で命を捨てられた時、神殿の幕が上から下に真っ二つに裂けた。 マルコ15:38
- イエスは彼らに答えて言われた。「この神殿をこわしてみなさい。わたしは、三日でそれを建てよう。」しかし、イエスはご自分のからだの神殿のことを言われたのである。ヨハネ2:19、21

6

真の神は神殿に収まらない

- 宗教は、神(神と人の関係)を「管理」しようとする。
- 聖書は「神の国(支配)」(あるいは神)が来た^と教えている。
- だから「悔い改めよ。」＝「無駄な抵抗をやめて、神の愛に無条件降伏せよ！」
- 神を宗教に収めるのではなく、神に治めていただく、神の国(支配)を歓迎する。
- 自分の国の王座を神に譲る。神の愛の支配の中で神といっしょに永遠に生きる！

7

神の求める住まい(神殿)

- いと高くあがめられ、永遠の住まいに住み、その名を聖となえられる方が、こう仰せられる。「わたしは、高く聖なる所に住み、心碎かれて、へりくだった人とともに住む。へりくだった人の霊を生かし、砕かれた人の心を生かすためである。
イザヤ57:15
- あなたは聖であられ、イスラエルの賛美を住まいとしておられます。詩篇22:3
- 「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。」ヨハネ14:24

8

神が建てている神殿(私たち)

- あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現わしなさい。1コリント6:19-20
- 私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。2コリント3:18

9

主が現在建設中！(教会)

- しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。ガラテヤ5:22-23
- こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身だけにまで達するためです。
I^h4:11-13

10

主が現在建設中！(私たち)

- ソロモンは良い祈りをささげたが、自分をささげなかった。
- 女性、力、富、、他のものにささげてしまった
- 父ダビデの心とは違って、神、主と全く一つにはなっていなかった。1列王11:4
- 私たちのささげない部分からサタンは侵入する。自分の「聖域」を持たない。お金、仕事、自分のやりたいことも。詩127:1、ヤコブ4:13-16
- 主に協力して建て上げていただきましょう。

11

私たちが主の神殿

- 私たちは研修生(弟子)。主の訓練を受けながら、主と一緒に主のために働いています。
- 主は私たちに信頼し、私たちの成長を喜びながら、日々一緒に働いてくださっています。
- 主は私たちに訓練しながら、励まし、慰め、忍耐をもって教え続けてくださいます。
- 主は私たちに喜び、誇りに思ってくださいます。(私たちは「主が見せたい神殿」)
- 私たちも日々主を喜び、主を誇り、主に仕えましょう。

12